

科目名		日本語表現 (Communication in Japanese)							
学年	専攻	単位数	必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第1学年	生産システム専攻 物質工学専攻 経営工学専攻	2 単位	必修	講義・演習	前期 100分/週	90 時間			
担当教員		【常勤】 畑村 学							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	<p>○授業の最初にその日の授業の目的や概要を説明した上で、目標を達成するための演習を行う。毎時間同様のスタイルで授業を行う。</p> <p>○論理的で論旨が明確な話し方を身につける。また、説得力のある魅力的な話し方や態度、声の出し方、間の取り方を習得する。</p> <p>○内容やポイントを構造的に要約した図解資料の作成方法を習得する。</p> <p>○自分で作成した企画書および図解資料をもとに、少人数グループでプレゼンテーションを繰り返し行う。</p> <p>○グループの企画をより良いものにするために、主体的にメンバーとの議論に関わる。そうしたグループワークの仕方についても学習し、チームワーク力を養う。</p>								
学習・教育目標	(G)①	JABEE基準1(2)	(f)						
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	国語IV								
教科書	プリントを配布する。								
補助教材等									
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	10	20		30	40				100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	○	○		◎	○				
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○	◎				
汎用的技能 【コミュニケーションスキル・論理的思考力】					◎				
態度・志向性(人間力) 【主体性・チームワーク力】					◎				
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>○本科の1～4年の国語の授業で、断片的に、繰り返し学習してきたコミュニケーションスキルを向上させるためのトレーニングを、半期15回の授業で集中的に行う。課題のレベルは、当然本科の時よりも高くなる。</p> <p>○授業は、話す・聞くことが中心となるが、人前で中身のある話をするためには、話す材料を集め、読み、考え、時には資料(図解、グラフ、文章など)にまとめるなければならない。</p> <p>○そうした作業を繰り返し行うことで、基礎的な国語力のレベルアップも図る。</p> <p>○毎時間レポート課題を出す、それらは翌週の授業に臨むために必要不可欠である。他の授業の準備等でたいへんであるが、必ず準備して欲しい。</p> <p>○手を抜くことなく半年間の授業に取り組むことで、自らのコミュニケーションスキルがレベルアップしたことを確実に実感するはずである。</p>									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	○シラバスをもとに、授業内容や学習到達目標等を理解する。 ○授業が講義・演習の形式であることを確認する。	予習:シラバスを読み、半期の授業内容を確認する。 復習:レポート課題を行
2	コミュニケーション概論・演習①	○スピーチやプレゼンテーションのための話し方(声、リズム・間、体の使い方など)を理解し、実際に行うことができる。	予習:前週の授業で出された課題(レポート)に取り組む。
3	コミュニケーション概論・演習②	○聞く側としては、積極的に聴く態度(見る、うなずく、質問やコメントをするなど)を理解し、実際に行うことができる。	復習:その日に学習した内容に関して資料を見返す。当日の演習について反省点や課題を整理する。
4	コミュニケーション概論・演習③	○授業では、「おすすめの本」「自己紹介」などの課題で、毎時間スピーチやプレゼンテーションを行う。	
5	図解①	○プレゼンテーション資料に不可欠な図解の方法について理解できる。	予習:前週の授業で出された課題(レポート)に取り組む。
6	図解②	○基本的な図解が制作できる。	復習:その日に学習した内容に関して資料を見返す。当日の演習について反省点や課題を整理する。
7	図解③	○新聞や雑誌、ネット上に掲載される図を利用して、図の効果的な説明ができる。 ○授業では、タイムリーな新聞記事等を利用して、図解の仕方を学習する。	
8	中間試験		
9	ショートプレゼンテーション①		予習:前週の授業で出された課題(レポート)に取り組む。
10	ショートプレゼンテーション②	○オリジナルの図を作成し、図を使って効果的なショートプレゼンテーションができる。	復習:その日に学習した内容に関して資料を見返す。当日の演習について反省点や課題を整理する。
11	ショートプレゼンテーション③	○授業で学習した話し方や図の説明の仕方(説明文の書き方)を踏まえてプレゼンテーションを行う。	
12	企画書の作成とプレゼンテーション①	○企画書の書き方を理解し、決められた書式で企画書を書くことができる。	予習:前週の授業で出された課題(レポート)に取り組む。
13	企画書の作成とプレゼンテーション②	○企画内容を的確に要約した図解資料を作成することができる。	復習:その日に学習した内容に関して資料を見返す。当日の演習について反省点や課題を整理する。
14	企画書の作成とプレゼンテーション③	○企画書と図解資料をもとに、効果的なプレゼンテーションができる。 ○グループの他者の企画に対して質問したり意見を述べたりすることで、よりよいアイデアになるよう積極的に議論に参加することができる。	
前期末試験			
15	試験返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	○テスト内容の確認を行う。 ○半期の学習内容の確認を行う。	
総学習時間数			90 時間
講義			25 時間
自学自習			65 時間